

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2022年 1月 13日
事業所名: 夢門塾白楽

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	0	1	9	・定員10名のスペースに13名ほどのお子様の預かりはお子様同士の行き交いや日々の療育での設定に難しさを感じる。 ・狭い。 ・勉強するお子様と遊ぶお子様が居る時は工夫はしているが、もう一部屋あると良いと思う。 ・教室内活動と外出活動でグループ分けしている。
	②	職員の配置は適切である	8	3	0	・職員の協力により高い加算が取れている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	10	0	0	・毎日の掃除、拭き掃除、アルコール消毒等行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	8	2	0	・全職員の意見が聞ける支援環境改善アンケートは良い機会になった。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	
	⑥	自己評価の結果を公開している	8	1	0	・未回答1 ・ホームページで公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5	4	0	・教室内で日々の支援に参考になりそうな資料等の共有をしている。 パート等の入職時の研修、社内での勉強会などの機会はどちらともいえない。 ・良い資料があったら全員に共有している。 ・外部研修は実施されていない。 ・毎日のミーティングのほか、月一回定期的なミーティングが行われているが日によっては参加できない日がある。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	10	0	0	
	⑨	活動の計画をチームで行っている	9	1	0	
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	10	0	0	・季節の行事や食材、旬のものを取り入れ、四季の移り変わりを感じられるものを多く取り入れている。 ・他教室より多種多様な活動が出来ている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	8	2	0	
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	9	1	0	
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2	0	・打ち合わせの実施に努めているが、授業終了が早い等、お子様のお迎え時間によって確認不十分な日がある。 ・コロナ禍以降、下校時間が早まり、始業前の確認が出来なくなっている日が多い。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1	0	
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	9	1	0	・適切なモニタリングで保護者様からの信頼を得ている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	7	3	0		

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1	0	・お迎え時にご本人の様子を伺い、学校の先生と直接やりとりをしたり、保護者様を介してやり取りを行っている。 ・うまく連携できている学校とそうでない学校の差が大きい。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	4	1	・未回答1 ・学校からの引き渡しの際に申し送りをしてもらえることが増えた。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4	5	0	・未回答1
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	2	・専門職のスタッフに助言や教えていただいている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	10	0	0	・未回答1 ・お送り時に口頭でお伝えするほか、コドモンでお伝えしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	8	1	0	・未回答1 ・通所開始時以外にも質問があればすぐ説明できるようにしている。 ・「生活能力向上のための訓練の場」という児童福祉法上の趣旨を理解していない保護者様が散見される。保護者のニーズ、お子様のニーズ、放課後デイの趣旨が不一致。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	9	1	0	・未回答1 ・面談時、利用児について以外の事も伺っている。 ・相談できる場所だと思っただけしている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	3	0	7	・コロナ禍により開催できず。 ・保護者様同士の交流は主に学校で行われている。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1	0	
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	10	0	0	・ブログ更新を週に2回のペースで更新を目指している。 ・ブログ、ゆめだよりの内容が魅力的。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	10	0	0	・シュレッターを活用している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	0	
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	9	0	1	・近隣大学主催のキャンドルナイトイベントに参加。 ・地域行事は土日に開催されることが多く、営業的に難しいのではないかと。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	10	0	0	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	10	0	0	・防災訓練等を定期的実施している。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	1	・未回答1
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	9	0	0	・未回答1
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6	3	0	・未回答1 ・与薬表の取り扱いが徹底されていない場合があるように思う。(車酔い止め)
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7	2	1	・ヒヤリハットまでとはいかないが、4人定員の車に3名のお子様を乗せ、助手席に座らせている日が稀にある。万が一事故にあった場合の責任追及や非難は免れない。定員5名以上の車の配置を希望。